

一般社団法人山口県医師会令和元年度第 11 回理事会

9 月 5 日（木）午後 5 時 20 分～6 時 20 分

河村会長、林・今村両副会長、加藤専務理事、萬・藤本・沖中・中村・清水・前川各常任理事、白澤・山下・伊藤・吉水・郷良・河村・長谷川各理事、藤野・篠原・岡田各監事

協議事項

1 第 62 回日本呼吸器学会中国・四国地方会、第 28 回日本呼吸器内視鏡学会中国四国支部会、第 70 回日本結核病学会中国四国支部会の後援・助成金について

標記 3 学会から連名で依頼のあった名義後援を承諾するとともに、5 万円の助成を行うことを決定した。

2 山口県性暴力相談ダイヤル「あさがお」被害者支援研修会の名義後援について

山口県男女共同参画相談センターから標記研修会の後援依頼があり、承諾することを決定した。

3 第 20 回院内感染対策セミナーの名義後援について

標記セミナーは営利団体が主催するものであり、他に特段の事情もないことから、名義後援を承諾しないことを決定した。

4 東京都医師会主催の母体保護法指定医師研修会参加証の認定について

東京都医師会が 10 月 13 日に開催する標記研修会の参加証を、本会による母体保護法指定医師の更新手続きにおいて有効なものとすることを決定した。なお、中国四国各県医師会以外の都道府県医師会主催の研修参加証を有効とすることは、現在のところ、今回のみの特例とすることが確認された。

5 「成育支援セミナー ～家庭看護力を学ぼう～」について

今年度の「家庭看護力の醸成」事業のうち、12 月 22 日に開催する医療スタッフを対象とした講習会のタイトルを標記のとおりとすることを決定した。

報告事項

1 第 64 回中国地区学校保健研究協議大会開会式（8 月 22 日）

広島国際会議場で開催された標記大会の開会式に出席し、次期開催県の会長として挨拶を行った。（河村会長）

2 地域医療構想調整会議・検討部会

「宇部・小野田」（8 月 22 日） 全体会議「岩国」（8 月 29 日）

「宇部・小野田」においては、急性期医療連携検討部会、続いて回復期・慢性期医療連携検討部会及び地域包括ケア連携検討部会が開催され、今年度の主な協議事項の説明が県から行われた後、医療機関ごとの対応方針の協議等が行われた。

「岩国」の全体会議においては、「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する計画」の策定に当たり、調整会議を「不足する外来医療機能」と「医療機器共同利用」についての協議の場とすることが承認された。（前川）

3 医事案件調査専門委員会（8 月 22 日）

診療所 1 件の事案について審議を行った。（林）

4 郡市医師会地域包括ケア担当理事会議（8 月 22 日）

オレンジドクター制度の周知及び登録促進、在宅医療に関する調査結果の取扱い等について協議した後、10 月 6 日開催の在宅医療推進フォーラムの説明等を行った。（清水）

5 臨床研修医交流会（8 月 24・25 日）

1 日目は、山口県医師臨床研修推進センターの事業紹介、静岡県立静岡がんセンター感染症内科の倉井華子 先生による特別講演「初期研修医が知っておきたい感染症診療のロジック」、グループワーク「内科救急テンプレートを作ろう！」及び懇親会を開催した。2 日目は、洛和会丸太町病院救急・総合診療科の上田剛士 先生による特別講演「救急でこんなに役立つ高齢者の身体診察」、症例検討

会及びグループワークのベストプレゼンテーション賞の発表が行われた。

(中村)

6 日医地域包括診療加算・地域包括診療料に係る かかりつけ医研修会「TV 会議」 (8 月 25 日)

糖尿病、認知症、脂質異常症、高血圧症、服薬管理等の 9 講義からなるプログラムにより日本医師会で開催された標記研修会を、本会会議室においてテレビ会議により実施した。全国で約 6,000 名の申込み、本会では 71 名が受講した。

(萬)

7 中国地方社会保険医療協議会山口部会 (8 月 28 日)

薬局 1 件が指定された。(河村会長)

8 「JMAT やまぐち」災害医療研修会事前打合会 (8 月 28 日)

12 月 1 日に開催する標記研修会の受講者の募集方法、研修内容について協議し、1 チーム 3 名として 30 名募集すること、日医の修了証が取得できるプログラムにすること等を決定した。(前川)

9 社保・国保審査委員合同協議会 (8 月 29 日)

協議題 5 題、会員からの質問 16 項目及び要望 4 項目について協議を行った。

(清水)

10 第 1 回山口県アレルギー疾患医療連絡協議会 (8 月 29 日)

山口大学医学部附属病院を山口県アレルギー疾患医療拠点病院に選定した後、アレルギー疾患患者の状況、アレルギー疾患医療の現状、今後のアレルギー疾患対策の取組等について協議を行った。(河村)

11 第2回医療政策研修会及び第2回地域医療構想アドバイザー会議

(8月29日)

厚生労働省医政局地域医療計画課による「今後の地域医療構想の進め方」及び「令和2年度概算要求の概要」についての説明、国立保健医療科学院による地域医療構想の事例発表が行われ、その後、同課による「診療実績データ等の分析による具体的対応方針の検証プロセス」の説明が行われた。(前川)

12 第153回生涯研修セミナー(9月1日)

国立研究開発法人国立長寿医療研究センターの荒井秀典 理事長による「健康寿命延伸をめざした生活習慣病対策～メタボからフレイルへ～」、大阪国際がんセンター検診部消化器検診科の井岡達也 副部長による「膵がん早期診断のための検診と最新の抗がん剤治療」、山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座の永野浩昭 教授による「山口県における癌治療と内視鏡外科の現状と展望」、産業医科大学医学部第1内科学講座の田中良哉 教授による「関節リウマチの生物学的製剤投与による治療」の4講演が行われた。参加者75名。(加藤)

13 山口大学医学部医学科第1回カリキュラム委員会(9月2日)

標記委員会の設置規程等の説明の後、eYUMEを使用した学修成果基盤型教育、山口大学医学部医学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、カリキュラムマップ等について協議を行った。(加藤)

14 山口大学医学部医学科第1回教育プログラム評価委員会(9月2日)

標記委員会の設置規程等の説明の後、学生自治会との懇談会(要望)に対するフィードバック、教員の「医学教育についてのアンケート」に対するフィードバック、医師国家試験合格率の推移(過去10年間)等について協議を行った。
(加藤)

15 広報委員会(9月5日)

会報主要掲載記事(10～12月号)、炉辺談話、歳末放談会、県民公開講座等

について協議を行った。（長谷川）

16 会員の入退会異動

入会 3 件、退会 7 件、異動 10 件。（9 月 1 日現在会員数：1 号 1,259 名、2 号 871 名、3 号 460 名、合計 2,590 名）

医師国保理事会 一第 9 回一

1 第 18 回「学びながらのウォーキング大会」について

11 月 24 日（日）に萩セミナーハウスで開催する標記ウォーキング大会の特別講演講師、ウォーキングコース等について協議、決定した。

2 傷病手当金支給申請について

1 件について協議、承認。